

10没
年後

下村 良之介展

2008年7月29日 火 - 8月31日 日

京都国立近代美術館 [岡崎公園内]

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町 電話075-761-4111

テレホンサービス(展覧会のご案内) / 電話075-761-9900 ホームページ / <http://www.momak.go.jp>

主催 / 京都国立近代美術館、京都新聞社

開館時間 / 午前9時30分 - 午後5時(入館は午後4時30分まで)

夜間開館 / 毎週金曜日、8月16日(土)は午後8時まで(入館は午後7時30分まで)

休館日 / 毎週月曜日

観覧料 / 一般850円(700円 / 600円)、大学生450円(350円 / 250円)

()内の料金は前売り / 20名以上の団体料金。本料金でコレクション・ギャラリーもご覧いただけます。

*高校生以下、心身に障害のある方と付添者1名は無料(入館の際に証明できるものをご提示ください)。

*前売券発売所: チケットぴあ・ファミリーマート(Pコード:688-258)、ローソンチケット(Lコード:56883)ほか主要プレイガイドなど。

同時開催: コレクション・ギャラリー小企画「パンリアルと戦後美術」7月23日 火 - 9月7日 日

「日本画」再考への序章

下村良之介(1923-1998)の没後10年に際し、その画業をふりかえる回顧展を開催いたします。

周知のように下村良之介は、京都の地で、新たな日本画表現を求めて結成されたパンリアル美術協会の第1回展から出品を続け、最晩年までこの協会とともに歩みました。その貴重な足跡は、あえて「日本画」という伝統的なジャンルに対して、現代の視点で革新性を標榜し、旧来の因習打破を目論む姿勢を貫き、文字どおりわが国ではじめて実現した「前衛」活動とって過言ではありません。

下村良之介は大阪市に生まれ、京都市立絵画専門学校を卒業のち、1948(昭和23)年パンリアル美術協会に参加、後には指導的役割を果たし、旺盛な創作活動を展開してゆきました。「日本画」の描画材によりながらも、初期にはキュビズムの手法を用いて動感溢れる表現を開拓、一方で戦争体験を機に、優雅で美しい花鳥風月を主題とする日本画に不信感を抱き、社会的な主題にも着手してゆきます。そして、「鳥」をモチーフに紙粘土を併用した重厚な作品群によって、まさに「天空を切っ裂いて翔ぶ鳥」に託すように、独自の表現世界を築き上げました。本展覧会では、生涯変わらぬ「前衛」姿勢を中心軸にすえながら、版画や「やけもの」と称する陶芸作品も含め、「創造者・下村良之介」の全貌を紹介いたします。さらにコレクション・ギャラリーにおいても、当館が所蔵する三上誠、星野真吾、不動茂弥、大野秀隆(叔高)、野村耕らの作品を中心に、小企画「パンリアルと戦後美術」を同時に開催して、「日本画」再考の場となるよう構成いたします。



祭 1949(昭和24)年 京都国立近代美術館蔵



よろこび 1951(昭和26)年 徳島県立近代美術館蔵



月明を翔く[衛] 1987(昭和62)年 刈谷市美術館蔵



嶺留波[伊] 1987(昭和62)年



赫日 1998(平成10)年



水辺屏風(部分) 1972(昭和47)年



還暦の自画像 1983(昭和58)年

記念講演会

8月2日(土)「下村良之介再考」
天野一夫氏(豊田市美術館チーフキュレーター)
 時間：午後1時30分～3時
 会場：京都国立近代美術館 1階講演室

*聴講無料、定員100名、午前11時から受付にて整理券を配布いたします。



交通案内

【JR～バスをご利用の方】JR・近鉄京都駅前(A1のりば)から市バス5番 岩倉行「京都都会館美術館前」下車 / JR・近鉄京都駅前(D1のりば)から市バス100番(急行) 銀閣寺行「京都都会館美術館前」下車
 【阪急電鉄・京阪電鉄～バスをご利用の方】阪急烏丸駅・河原町駅、京阪三条駅から市バス5番 岩倉行「京都都会館美術館前」下車 / 阪急烏丸駅・河原町駅、京阪四条駅から市バス46番 平安神宮行「京都都会館美術館前」下車
 【市バス他系統ご利用の方】「東山二条」又は「京都都会館美術館前」下車 徒歩約5分
 【地下鉄ご利用の方】地下鉄東西線「東山」駅下車 徒歩約5分
 【お車で越しの場合】岡崎公園駐車場(地下)をご利用の有料入館者は駐車場の割引(1台1名)を受けられますので、駐車券をお持ちの上お越しください